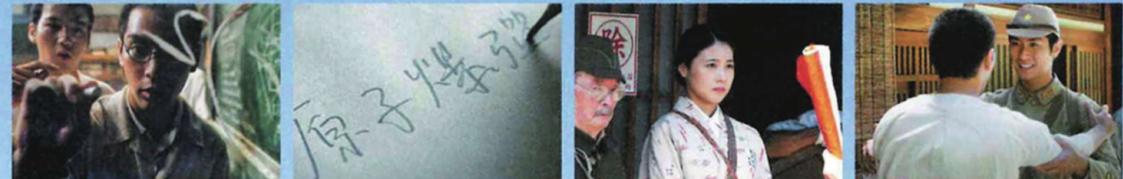


柳楽優弥×有村架純×三浦春馬×監督:黒崎博

日米で描く“日本の原爆開発”——。ハリウッドを魅了した青春物語。

太平洋戦争末期に存在した「F研究」と呼ばれる“日本の原爆開発”。その事実を基に、時代に翻弄されながら全力で駆け抜けた若者たちの、等身大の姿を描いた青春群像物語。監督・脚本は「青天を衝け」など多くの話題作を手がける名手・黒崎博。彼が10年間大切に温め続けたこの企画に共鳴し、柳楽優弥、有村架純、三浦春馬、田中裕子、國村隼、イッセー尾形、山本晋也、そしてピーター・ストーメアが参加。音楽にはアカデミー賞⁵部門ノミネートの『愛を読むひと』のニコ・ミューリー、サウンドデザインに『アリー/スター誕生』のマット・ヴォウレスと、ハリウッドスタッフが続々と参加。さらに主題歌を、製作陣の熱い想いを受け止めた福山雅治が担当し、心に沁みるバラード「彼方で」で物語を深く彩る。今夏最注目の日米ビッグプロジェクトが遂に公開。



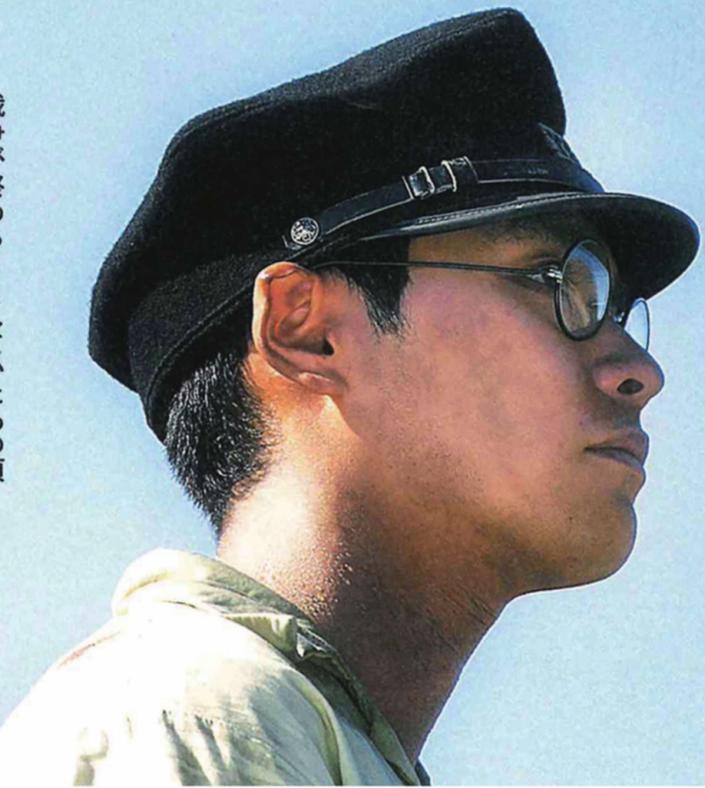
STORY

1945年の夏。軍の密命を受けた京都帝国大学・物理学研究室の若き科学者・石村修(柳楽優弥)と研究員たちは、原子核爆弾の研究開発を進めていた。研究に没頭する日々の中、建物疎開で家を失った幼馴染の朝倉世津(有村架純)が修の家に居候することに。時を同じくして、修の弟・裕之(三浦春馬)が戦地から一時帰郷し、久しぶりの再会を喜ぶ3人。ひとときの幸せな時間の中で、戦地で裕之が負った深い心の傷を垣間見る修と世津だが、一方で物理学に魅了されていた修も、その裏にある破壊の恐ろしさに葛藤を抱えていた。そんな二人を力強く包み込む世津はただ一人、戦争が終わった後の世界を見据えていた。それぞれの想いを受け止め、自分たちの未来のためと開発を急ぐ修と研究チームだが、運命の8月6日が訪れてしまう。日本中が絶望に打ちひしがれる中、それでも前を向く修が見出した新たな光とは——？



今を、生きる

戦争が終わろうとしていたあの頃
死と隣り合わせの弟がいた
ただ一人、未来を見つめるあの娘がいた
守るべき彼らのために、これから世界のために僕は、
がむしゃらに走り続けた



鹿嶋名画鑑賞会

前売券 1,200円 発売予定日／6月1日～【当日券／一般：1,500円、障がい者：1,200円、高校生以下(当日券のみ)：800円】

前売券販売所 鹿嶋勤労文化会館、ショッピングセンターチェリオ、デジタルチケット

【前売券予約電話番号】茨城 映画センター内：090-2641-3156

(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

●主催・問合せ● 茨城映画センター (TEL:029-226-3156)

●共催● 鹿嶋勤労文化会館 (TEL:0299-83-5911、第1・第3月曜日休館)

(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

PassMarket

YAHOO!

※デジタルチケットは
右記の二次元コード
より購入できます。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

